

総合評価落札方式の概要

【総合評価落札方式とは】

- ・ 総合評価落札方式は、価格だけで評価していた従来の落札方式と違い、品質を高めるための新しい技術やノウハウといった価格以外の要素を含めて評価する落札方式
- ・ 入札価格が予定価格の制限の範囲内にあるもののうち、価格と品質を数値化した「評価値」の最も高いものを落札者とするにより、予定価格の範囲内で価格と品質が総合的に優れた業者を選定
- ・ 適期に作業するための工夫などの技術提案、同種事業の実績や事業成績等が評価の対象

【総合評価落札方式のメリット】

- ・ 品質面での競争により事業の品質を向上させることができる
- ・ 技術上のポイントを事前に把握できる
- ・ 事業者の育成と技術力の向上が図られる
- ・ 談合の防止に効果がある

【落札者の決定方法】

- ・ 造林事業及び素材生産事業の総合評価落札方式では、森林土木工事と同様に「除算方式」を導入し、評価値が最も高い者が落札者となる

$$\text{評価値} = \text{評価点} \div \text{入札価格}$$

※入札価格が高くても、技術等の提案が優れており、評価点が高ければ落札する場合があります

【落札者の決定（例）】

